



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月8日

上場会社名 株式会社歯愛メディカル 上場取引所 東
 コード番号 3540 URL <https://ci-medical.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 清人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 三好 誠治 TEL 076-278-8802
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	22,197	5.9	1,768	△23.9	1,953	△16.3	1,226	△19.8
2022年12月期第2四半期	20,963	2.7	2,325	△8.7	2,333	△10.4	1,528	△1.4

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 1,252百万円 (△17.4%) 2022年12月期第2四半期 1,515百万円 (△2.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	122.63	—
2022年12月期第2四半期	152.85	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式がないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	37,860	19,280	50.8
2022年12月期	30,186	18,280	60.3

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 19,214百万円 2022年12月期 18,216百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	25.22	25.22
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,030	5.0	4,030	1.1	4,016	3.3	2,546	1.0	254.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）株式会社ナイキ齒研

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期2Q	10,000,000株	2022年12月期	10,000,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	142株	2022年12月期	142株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期2Q	9,999,858株	2022年12月期2Q	9,999,897株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページの「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府が新型コロナウイルス感染症の感染症上の位置づけを2類相当から5類感染症へ変更したことにより、経済活動は感染症拡大前とほぼ同水準に戻りつつありますが、ロシアによるウクライナ侵攻に伴うエネルギー価格や原材料価格の高騰の長期化の影響により不安定な状況が依然として続いております。

このような経済状況の中、歯科関連業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大前までは歯科医療費は増加傾向にあるなど、国内歯科関連業界全体の事業環境は緩やかな回復が見られておりましたが、上記の影響により先行きが不透明な状況が続いております。こうした中でも、歯科治療領域でのデンタルソリューション関連装置等がマーケットを牽引することにより、歯科機器・用品マーケットの増加傾向は続く見通しです。

当社グループにつきましては主力の歯科医院向け通信販売事業を中心に新商品の販売及び個人医院・総合病院等の医科業界及び動物病院業界への参入拡大を引き続き進めるとともに、歯科医院及び動物病院等へ大型医療機器（デジタルレントゲン医療機器等）を販売し確実に実績を積み重ねております。その一方で利益面では、円安基調や原材料価格の高騰の影響による商品調達価格上昇の影響が続いておりますが、今年5月に歯科通販総合カタログを発刊し、価格改定により収益は改善傾向にあります。歯科以外の通販事業におきましても、第3四半期会計期間以降より順次対応を予定しております。

その他の事業については、CAD/CAM歯科技工関連機器・システム販売事業及びCAD/CAM歯科技工物製作事業において昨年2022年4月のCAD/CAMインレーの保険適用の拡大および前連結会計年度に子会社化した歯科技工所3社のM&A効果により、経営成績は堅調に推移いたしました。その一方で、歯科医院等の医療機関取引先向け電力小売取次事業「C i 電たる」では、電力市場価格高騰の影響を当社で負担していることの影響を受けており当第1四半期会計期間では赤字となっておりますが、お取引条件の見直し及び事業経費削減等の施策により、当第2四半期会計期間では黒字に転じており、収益は回復基調となっております。

また、今年秋口に稼働を予定している新ロジスティクスセンターの開設に備え、ロジスティクスセンター及び事業企画部門等での人員強化に伴う人件費増加等により、販売費及び一般管理費が増加しております。

以上のような背景のもと、当第2四半期連結累計期間における売上高は221億97百万円（前年同期比5.9%増）、営業利益は17億68百万円（同23.9%減）、経常利益は19億53百万円（同16.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億26百万円（同19.8%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

①流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ6億53百万円増加（4.6%増）し147億27百万円となりました。これは主として、商品及び製品が7億13百万円増加した一方で、現金及び預金が1億24百万円、未収入金が70百万円減少したこと等によるものであります。

②固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ70億20百万円増加(43.6%増)し231億32百万円となりました。これは主として、建設仮勘定が69億63百万円、無形固定資産その他に含まれるソフトウェア仮勘定が2億57百万円増加した一方で、ソフトウェアが92百万円、投資有価証券が46百万円減少したこと等によるものであります。

③流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ66億51百万円増加(58.3%増)し180億68百万円となりました。これは主として、未払金が67億94百万円増加した一方で、流動負債 その他に含まれるデリバティブ債務1億64百万円、未払法人税等が45百万円減少したこと等によるものであります。

④固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ21百万円増加(4.5%増)し5億11百万円となりました。これは長期借入金が増加したことによるものであります。

⑤純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ9億99百万円増加(5.5%増)し192億80百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益12億26百万円及び剰余金の配当2億52百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年2月14日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,731	1,606
受取手形及び売掛金	3,054	3,090
有価証券	95	121
商品及び製品	7,210	7,924
原材料及び貯蔵品	16	19
前渡金	552	597
未収入金	1,333	1,262
その他	89	115
貸倒引当金	△9	△9
流動資産合計	14,074	14,727
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	546	518
機械装置及び運搬具 (純額)	318	314
土地	588	588
建設仮勘定	12,297	19,260
その他 (純額)	80	93
有形固定資産合計	13,831	20,775
無形固定資産		
ソフトウェア	512	419
のれん	619	583
その他	575	834
無形固定資産合計	1,707	1,836
投資その他の資産		
投資有価証券	186	139
繰延税金資産	278	261
その他	116	119
貸倒引当金	△7	△0
投資その他の資産合計	573	520
固定資産合計	16,112	23,132
資産合計	30,186	37,860

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,730	1,777
未払金	1,364	8,158
短期借入金	7,000	7,000
1年内返済予定の長期借入金	27	27
未払法人税等	665	619
賞与引当金	24	35
その他	604	449
流動負債合計	11,416	18,068
固定負債		
預り保証金	416	416
長期借入金	65	83
その他	7	12
固定負債合計	489	511
負債合計	11,906	18,580
純資産の部		
株主資本		
資本金	10	10
利益剰余金	18,249	19,223
自己株式	△0	△0
株主資本合計	18,258	19,232
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△42	△18
その他の包括利益累計額合計	△42	△18
非支配株主持分	63	65
純資産合計	18,280	19,280
負債純資産合計	30,186	37,860

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	20,963	22,197
売上原価	14,930	16,270
売上総利益	6,032	5,927
販売費及び一般管理費	3,707	4,158
営業利益	2,325	1,768
営業外収益		
受取利息及び配当金	19	11
貸貸収入	8	13
デリバティブ評価益	—	170
その他	7	25
営業外収益合計	36	220
営業外費用		
為替差損	25	26
その他	2	9
営業外費用合計	28	36
経常利益	2,333	1,953
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
投資有価証券償還損	—	60
投資有価証券評価損	14	—
その他	0	0
特別損失合計	14	60
税金等調整前四半期純利益	2,318	1,893
法人税、住民税及び事業税	833	659
法人税等調整額	△42	5
法人税等合計	790	665
四半期純利益	1,528	1,228
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,528	1,226

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,528	1,228
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	23
その他の包括利益合計	△13	23
四半期包括利益	1,515	1,252
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,515	1,250
非支配株主に係る四半期包括利益	—	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,318	1,893
減価償却費	175	192
のれん償却額	—	36
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9	7
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△6
受取利息及び受取配当金	△19	△11
支払利息	1	5
為替差損益 (△は益)	△5	△29
投資有価証券評価損益 (△は益)	14	—
投資有価証券償還損益 (△は益)	—	60
売上債権の増減額 (△は増加)	△261	△25
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△790	△709
その他の資産の増減額 (△は増加)	△303	7
仕入債務の増減額 (△は減少)	71	43
その他の負債の増減額 (△は減少)	128	△212
小計	1,338	1,251
利息及び配当金の受取額	23	14
利息の支払額	△1	△5
法人税等の支払額	△499	△719
営業活動によるキャッシュ・フロー	861	542
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△4,075	△411
有形及び無形固定資産の売却による収入	—	0
投資有価証券の取得による支出	—	△143
投資有価証券の償還による収入	—	100
その他	1	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,074	△454
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,000	—
配当金の支払額	△282	△252
その他	—	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,717	△257
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	28
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,492	△142
現金及び現金同等物の期首残高	3,649	1,731
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	17
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,157	1,606

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

（連結の範囲の変更）

第1四半期連結会計期間より、重要性が増した株式会社ナイキ歯研を連結の範囲に含めております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社グループは、主に歯科関連商品を扱う通信販売事業を中心とした事業活動を展開しておりますが、事業セグメントを集約した結果、報告すべきセグメントは通信販売事業のみであるため記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。